

Title	琉球人名考(東恩納寛惇著, 郷土研究社發行)
Sub Title	
Author	松本, 芳夫(Matsumoto, Yoshio)
Publisher	三田史学会
Publication year	1925
Jtitle	史学 Vol.4, No.3 (1925. 8) ,p.150(462)- 150(462)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19250800-0150">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19250800-0150</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

獸などの話、或は民間信仰に關係ある流行神や犬神、或は長者物語等がある。風俗でも傳説でもその地方の民衆の生活の反映であり、民衆を理解する最も大切な要素である。けれども時代のすむとともにこれらは全く消滅したり、或は變化する。それ故この災禍を免れるためにはこれを記録にとどめて保存せねばならぬのであって、本書のごとき小冊子とは言へ士俗研究には非常に貴重なる書と言はねばならぬ。

### 球 球 人 名 考

(東恩納寬惇著  
郷土研究社發行)

本書もまた爐邊叢書の一冊であつて、琉球における古文献に見れたる人名をいかによむべきか、また後世のといかる關係を有するかを研究せるものである。まづ一般氏名、即ち姓及氏、家名、名乗、唐名、童名の研究より始めて童名の接頭美稱と接尾美稱としての附加語の種類をあげ、その性質を説明し、さうして童名の接頭語及び接尾語の附加具合によつて貴族、士族、平民の三階級を表示することをのべ、ついで各種の童名、組踊中の童名、古書に見れたる人名、『おもろ』及び傳説に見れたる人名をあげて説明し、また種々の王の神號をあげてその意味をさぐり、それが光耀の意を表はすもの、靈威崇高を表はすもの、偉大英雄を表はすもの、主權を表はすもの、浮揚秀勝を表はすものであること、換言すれば稜威盛なる日神の御裔と云ふ抽象的絶對的讚意の外に、仁とか義とか云ふやうな批判的相對的思想を表現してゐないことをの

べて、これによつて王權に對する觀念をみることができるとなし更に命名に關する慣行を説き、また貴族、士族、平民の階級制度と位階、並ひにその階級及び位階を表示する冠及び簪の起原や種類をのべ、最後に組踊中に見れたる位階組織を説いてゐる。かくのごとく各方面に亘つての研究であつて、ひろく古記録類を引用し、いたるところ語源的解釋をほどこしてその原意を明かにしてゐる。琉球研究者に對してその蒙を啓くところは少くないであらう。

### シ マ の 話

(佐喜眞興著  
郷土研究社發行)

本書もまた爐邊叢書の一冊であつて、沖繩島中部地方の新城(アラグスク)の島を中心とした土俗の研究である。本書に於けるシマは島の意味ではなくして、ロシアのミイルにすこぶる似た村落共產體か意味するところのもので、經濟上に於いても社會組織の上に於いても一の單位をなし、そこに發生したるシマ生活はそれぞれ特異なものであつた。本書に於いてはまづ『村落共產體としてのシマ』に於いてこの特異なシマの行政、社會的羈絆、結婚制度、自治警察制度、租稅、祭禮、娛樂等に關する説明をなし、以下島人の私有財產的法律關係、島人の家々、島人の被服、島人の飲食物、島人の年中行事、出生、性、病、死、死後、旅、島人の言葉遣及呼稱、トキ・ユタ及マジナイ、雜の項目の下にそれぞれの土俗學的研究をなしてゐるが、殊に注意すべきは、他でほとんど